

NUBIC知的財産情報開示

開示日: 2003年10月09日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2003000028"/> 整理番号 <input type="text" value="10519"/> 担当者 <input type="text" value="齋藤 光史"/>
表 題	<input type="text" value="う蝕細菌の簡便・迅速・高感度かつ安価な検査方法およびプライマーセット"/>
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text" value="化学・薬品"/>
適応製品	<input type="text" value="う蝕細菌検出システム"/>
目 的	<input type="text" value="LAMP法を用いたう蝕細菌(ストレプトコッカス・ミュータンスとストレプトコッカス・ソブリヌス)を簡便・迅速・高感度かつ安価に検出する方法の提供。"/>
技術概要	<input type="text" value="本発明では、う蝕の原因細菌であるストレプトコッカス・ミュータンスとストレプトコッカス・ソブリヌスそれぞれに特異的なプライマーを設計し、LAMP法を応用して、歯科臨床で現実的に使用可能な簡便・迅速・高感度かつ安価なう蝕細菌の検出方法を開発した。"/> <input type="text" value="現在、歯科臨床では患者教育や患者における口腔清掃の動機付けにう蝕細菌の検出結果を利用することが注目されている。これまでは、上記のう蝕細菌の検出には培養法が主に用いられてきたが、培養に数日かかるなどの欠点があった。この点を解決するPCR法を用いた検出法が開発されたが、高価な機材や手間が必要であり、また、時間が短縮されたとは言え、検出までに数時間を要することから、実際の歯科臨床への普及は進んでいない。一方、ストレプトコッカス・ミュータンスとストレプトコッカス・ソブリヌスそれぞれに特異的な本発明のLAMP法プライマーでは、各細菌を特異的に検出でき、65℃の一定の温度に加温するだけで、30分の反応で目視による判定が可能であり、さらに、PCR法より高感度に検出できることから、これからの歯科臨床の現場で大いに利用されることが期待される。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を申し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【 申込み・問い合わせ先 】

日本大学国際産業技術・ビジネス育成センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4 - 8 - 24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 e-mail:nubic@adm.nihon-u.ac.jp